



リハビリ科 研修内容

研修内容例

- ①経験 1 年時療法士 : 新人教育レクチャー（合同を含む）の受講
: 症例検討会（合同症例検討会・外部発表）の実施
- ②経験 3 年時療法士 : 新人指導の実施（プリセプター業の実施）
- ② 1～2 回／下期月 : 外部講師による各科の勉強会
- ③ 1 回／週 : 整形外科医との早朝勉強会（主に画像診断が中心）
- ④不定期 : 自己学習発表や伝達講習などを適宜実施

院外における教育・研修体制

最新のリハビリテーション知識・技術の習得を目指し患者様に提供するため、自身の得意分野・興味のある分野を伸ばすために、外部の研修会等に参加をしていただきます。院外の方々との交流を図ったり、当院では少ない症例について、見識を深めていただきます。また、各協会の定める新人教育プログラム修了及び、認定療法士の修得を目指していただきます。

研修内容例

- ①各協会主催の講習会・新人教育プログラムへの参加
- ②各協会以外の各種講習への参加
- ③各種学会への参加及び発表 ④各種学会や研究会への入会

学生指導への参加

学生の指導にあたることで自身の知識・治療技術の確認・定着、及び向上を図っていただきます。実習指導を階層的に行うことで指導能力を身につけていくことができます。また、各養成校との繋がりを広げていくことが可能です。

具体的内容

- ①経験 1～2 年時目標：見学実習の対応、1 日体験実習の対応
- ②経験 2～4 年時目標：
上記に加え、スキルに応じて、臨床実習サブバイザー・検査測定実習スーパーバイザー・評価実習スーパーバイザーとして対応をしていただきます。
- ③経験 5 年目以降目標：
上記に加え臨床実習スーパーバイザー、適宜後輩療法士への指導（バイザー指導）を行っていただきます。

研修の具体的内容

タイトル		内容
実務関係	勤務・人事	シフト調整、勤務連絡、残業申請、人事考課制度、チャレンジシートの書き方
	業務の流れ	PT・OT・ST の仕事・1 日の流れの紹介、各カンファレンス・各回診、4F・5F・地域医療連携に関するミーティング、NST 委員会・院内ラウンド等
	外来・検査・指導	外来リハの説明(手外科含む)、水頭症・認知症検査、松葉杖の指導等
	書類関連	カルテ・計画書・廃用コメント等の書き方、処方書き換え・レセプト関連、予約調整・コスト算定方法等
	感染	感染対策(スタンダードコンプライアンス・感染時対応・出勤時対応)、感染委員会が行う研修への参加
	リスク・医療安全	急変・インシデント・ヒアリハットの対応、転倒・抜針防止、危険予知トレーニング、ルート管理、医療安全委員会
	褥瘡	褥瘡予防、ポジショニング等、褥瘡委員会
	接遇・マナー	患者・スタッフとのコミュニケーション(報告・連絡・相談)、電話対応、接遇委員会
	介護保険	介護保険(申請方法等)
臨床関係	PT・OT・ST	情報収集(カルテ・血液・画像等)、実技(検査・測定・起居・移乗・トイレ・入浴・食事介助)、環境設定等
	整形外科	脊椎疾患(頸・腰)について、術前評価・離床・パスの紹介、カラー・コルセットの装着
		関節疾患(股・膝)について、術前評価・離床・パスの紹介、免荷時の対応等
	脳神経外科	脳外科疾患(脳卒中・慢硬・水頭症等)について、離床・パスの紹介、脳卒中連携パス
内科・外科	心不全・呼吸器疾患・外科術後・離床について、O2ポンベ管理、術後合併症、離床後の病棟連絡等	